

令和6年度第1回七尾市戦略的復興プラン等推進委員会 議事録

日 時	令和6年8月30日（金）午後4時05分～午後5時35分
場 所	七尾市役所 2階 201会議室
出席者	<p>【委員】</p> <p>大森幸太郎 委員、平山泰之 委員、田尻大輔 委員、入口翔 委員、 多田健太郎 委員、寺田美紀 委員、小山明子 委員、芝垣圭太 委員、 酒井光博 委員、円山賢一 委員、飯田伸一 委員、石坂智子 委員、 山本朝美 委員</p> <p>（覚内委員、出島委員は欠席）</p>
	<p>【事務局】</p> <p>橘 総務部長、楠 企画振興部長、松村 市民生活部長、谷一 健康福祉部長 松崎 産業部長、三野 建設部長、奥村 教育部長、 水口 七尾鹿島消防本部消防長、宮崎 公立能登総合病院経営本部長、 板坂 能登半島地震復興推進室長、 寺田 能登半島地震復興推進室次長、水谷 能登半島地震復興推進室専門員、 江口 能登半島地震復興推進室主事、河原 能登半島地震復興推進室主事</p>
委員会における議事内容（質疑応答・意見等）	
飯田 委員長 板坂 室長	<p>1 開会</p> <p style="padding-left: 20px;">市長あいさつ</p> <p>2 議事</p> <p style="padding-left: 20px;">（1）委員長及び副委員長の選任について</p> <p style="padding-left: 40px;">（委員の互選により、委員長に飯田委員、副委員長に円山委員を選出。）</p> <p style="padding-left: 20px;">（2）七尾市戦略的復興プラン（案）について</p> <p>七尾市戦略復興プラン（案）について事務局から説明を願う。</p> <p style="padding-left: 20px;">（資料「七尾市戦略的復興プラン（案）の概要」と「七尾市戦略的復興プラン（案）」により説明）</p>

	<p>－質疑・意見－</p>
飯田 委員長	はじめに分野別復興施策について審議する。何か質問はあるか。
酒井 委員	この短期・中期・長期について、期間の目標値がもしあれば、このくらいを目指してということは想像できるので、そこはあれば教えていただきたい。
板坂 室長	先ほど説明させていただいたが、あくまでもこの表に関しては、着手日を基準として分けている。
酒井 委員	それぞれの事業の期間をいつまでに完了するという目標値はないのか。全てを記載するという事は難しいとは思いますが、そういう目標値があればわかりやすいと思う。
板坂 室長	記載されている取り組みの中で、具体的に事業を予算化してできるものもあれば、まだ、あくまでも方向性だけのものもある。具体的に一個一個、明確に示すことができないのが現状である。
多田 委員	会議の進め方についてお聞きする。3回程度開催とのことだが全体の流れを確認したい。
板坂 室長	本日の会議では、分野別復興政策の部分についてご審議をいただき、その後に重点プロジェクトについてご意見をいただくことを想定している。次回の会議では、本日、皆様からいただいたご意見を反映した重点プロジェクトと目標値となる K P I、基本理念と基本方針をお示しできればと考えている。
飯田 委員長	この復興プランには第3期総合戦略を含めたものとなるという解釈でよいか。
板坂 室長	委員長のおっしゃるとおりである。国の方針で、デジタル技術を基礎とした地方版総合戦略の改訂に昨年度、着手する予定であったが、地震の影響により、今年度、総合戦略と合わせて一本の計画として策定させていただく。
飯田 委員長	まずこの分野別復興施策に不足するものがないか、次に重点プロジェクトを決めて K P I を決めていくという流れでよいか。
板坂 室長	そのとおりである。委員の皆様視点からご指摘をいただければと思う。
飯田 委員長	他に意見はあるか。この場だけでなく、後日でも意見があった場合は、事務局の方に意見を提出いただければと思う。

飯田 委員長	次に重点プロジェクトについて事務局から説明を願う。
板坂 室長	(口頭で重点プロジェクトについて説明) －質疑・意見－
芝垣 委員	再建を目指す事業者への支援について優先に取り組んでいただきたい。国や県、市の方でいろんな支援制度をつくっていただき、本当にありがたいが事業者がこの情報を届けられてない現状があるので行政と連携して、事業者をサポートしていきたい。
飯田 委員長	地域産業の事業再建支援の強化については、和倉温泉や民宿、市内事業所の復旧が必要不可欠という観点から一つの重点プロジェクトにしたいなということである。
入口 委員	まずこの重点のプロジェクトについてであるが、参考になる資料はあるのか。これまで日本全国被災された地域とかで先行的に取り組まれている事例や市役所の方で叩き資料があればお示ししていただきたい。また、第2期総合戦略に掲げている事業で進捗状況が悪いものをこの復興プランに入れることでよいのか。復興や地方創生は町全体のみならずやるものだと思っているので、役割分担で誰が主体を担っていくのか、地域の市民なのか、金融機関なのか、行政なのかというところをもう少し主体的に記載いただきたい。
板坂 室長	県の復興プランのリーディングプロジェクトを参考に説明させていただく。県は13本のリーディングプロジェクトがあり、能登の「祭り」の再興や能登に誇りと愛着が持てるような「学び」の場づくりなどがある。県のホームページに載っているので、詳細はそちらを見ていただきたい。
入口 委員	もう一点だけお聞きする。復旧項目と復興項目、同じ並びにあるので分けるべきではないか。今後、ロードマップを作っていく上で復旧でも復興でもフェーズがあるのでそれに並べると重点も変わってくると思う。我々も一緒になって意見出せればと思っているので、よろしく願いたい。
多田 委員	立場的にも和倉温泉の復興はぜひ重点プロジェクトに入れていただきたい。今回の地震では、安全といったところが和倉温泉で担保できなかったという

酒井 委員	<p>ことがある。たくさんのお客さんを迎え入れており、復興する際には、サッカーグラウンドなど、今後の防災対策をどのようにするのかを考えていただきたい。また、大切なのは子どもの教育だと思っている。その土地の魅力、シビックプライドみたいなものを持ちながら成長できる環境っていうものを行政の方をお願いするのではなく、私たち市民も一緒になってやらなければならない課題だと思っている。復興と絡めて、そこはやっていくべきだと考えている。</p> <p>一番気になっているのがコミュニティの再生である。七尾市の中で各コミュニティセンターの取り組みに大きな格差があると思っている。飯田委員長みたいな元気な人がいる地域は良いが、私が住んでいる地域は良くない。公民館長などの地域の役職があるが、全く機能していない。行政に全てを任せるのではなく、住民主体で頑張れる体制づくりを市役所に支援してほしいと一番思う。</p>
飯田 委員長	<p>人材育成は重要だと思う。私の地域では、気仙沼の方から講師を招いて、セカンド大学という形で講座を受けたりして人材を育成している。一つのプロジェクトを作りながら進めていくことが人材育成につながるし、モチベーションにもつながる。</p>
寺田 委員	<p>個人的な思いであるが、子どもと保護者が安心して楽しめることが大切だと思う。子どもの室内遊び場の整備というところが今、一番大事だと思っている。やはり若い世代とか子どもが増えている他の市町は必ずと言っていいほど大きな室内の遊び場がある。子育て世代の移住定住の促進となるとそういう遊び場が必要だと思う。</p>
小山 委員	<p>私も寺田委員と同じ意見である。屋内施設もそうだが、屋外の公園施設も老朽化しており、急いで新しいものを設置していただきたい。屋内の遊び場整備が中期的な扱いになっているが、気候変動により夏場は外で遊ぶのが危険な日が多々あるので、急いで整備するべきではないか。もう1点は気候変動を危惧しているが、このプランには含まれていない。今後、大きな台風が七尾市にも来ると思う。震災からの復興に七尾市の里山里海の生態系を守ることも意識しながら取り組んでいただきたい。</p>
山本 委員	<p>私は5人の子どもを育てているが、七尾市の子育て環境をさらに充実させてほしい。目標値で待機児童がゼロとなっているが、子ども自体が少ないので、</p>

<p>石坂 委員</p>	<p>この目標が良いのか疑問に思う。</p> <p>現在、中島を拠点にしている NGO の現地スタッフとして活動しているが、実際に関係人口がかなり増えていると感じる。今度、中島である二十日祭りも 50 人ぐらいボランティアが来てくれる。今、本当ボランティアを通して関係人口を創出するというチャンスだと思うので、ボランティア活動をしやすい受け入れ態勢を整えるべきだと思う。これが祭りの継承や仮設住宅の見回りなど、いろんなところの支援につながるので、そこを重点的に考えていただけたらありがたい。</p>
<p>大森 委員</p>	<p>私は農業者なので絞った話になってしまうが、中島と能登島に畑があるが、ツイブリッジが渡れないため大変不便である。国や県に働きかけていただくことにはなると思うが、復旧の目途がわかるようになっていただければと思う。</p>
<p>平山 委員</p>	<p>能登島で漁業をメインに仕事をしているので、漁港の復旧を早急にさせていただきたい。能登島の幹線道路も早急に復旧していただくことが観光客を呼び込むことにつながると思う。現場の方に市の施策などの情報が届いていないので、この部分も力を入れていただくとありがたい。</p>
<p>田尻 委員</p>	<p>七尾商工会議所青年部を代表してきているので、商工の振興をメインにしていただけるとありがたい。私たちは、自分たちでなりわい補助金、小規模事業者や持続化補助金の勉強会を開催している。商工業の振興にしっかり取り組み、雇用をしっかりと確保した上で、今、仕事を離れられている方たちが帰ってこれるように、雇用維持できるような基盤作りをしっかりと頑張っていくべきだと思う。先ほど、多田委員が言っていた和倉温泉の復興について、和倉温泉が稼働しないとそこに付随する業者がたくさんあるので、一概にどれがってというのは言えないが、地域の産業の振興をメインで重点的に取り組んでいただけるとありがたいかなと私としては思う。</p>
<p>円山副委員長</p>	<p>町会連合会の関係で発言させていただくが、この震災による、住民の移動数字を年内にしっかりと掴みたいなど思っているが、だいたい 3 割から 4 割ぐらいの方が地域からいなくなると言われている。このプランに記載している取組みを一步ずつできることから始めていければいいかなと思う。</p>

飯田 委員長	<p>(3) 令和5年度七尾版総合戦略の検証について</p> <p>令和5年度七尾版総合戦略の検証について事務局から説明を願う。</p>
板坂 室長	<p>(資料「第2期七尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略取組内容」により説明)</p> <p>－質疑・意見－</p>
小山 委員	<p>一つだけK P I が気になったところがある。子育て環境の充実のところのK P I が待機児童数になっているが、待機児童数がゼロっていうのはあまり子育て環境が充実していることを反映していないのではないかと。子どもが減っているエリアだと待機児童数がゼロになりやすいだろうと思うので、別の指標で測った方がいいのではないかと。</p>
谷一健康福祉部長	<p>先ほど山本委員の方からもこの点についてご質問をいただいたが、待機児童が確かにゼロではあるが、都会と違い、こういう田舎の方では施設自体の余裕は十分あるが、保育士、看護師、介護士などの人材がなかなか集まらないのが現状で、現場では非常に困っている状況である。市の取り組みとしては、保育士に市内の保育園に勤めていただくため政策を重点的に取り組んでいるところである。</p>
飯田 委員長	<p>新たな産業の創出で新規企業立地件数3社を目指したがゼロという形になっているが、どういう努力して、これが結果としてゼロになったのか教えていただきたい。</p>
松崎 委員	<p>ご質問がありました新規の企業の立地件数についてですが、新規の企業の立地についての問い合わせは10件以上あったが、水の問題、敷地の面積、道路交通やアクセスの面でなかなか実を結ばないというのが現状である。企業誘致が2年か3年に1件から3件、1年に2件ぐらいある年もある。今後も、県と一緒に企業の立地に向け頑張っていきたい。</p>
飯田 委員長	<p>その他に質問がないようであれば、事務局から今後のスケジュールについて説明を願う。</p>
板坂 室長	<p>(口頭で今後のスケジュールについて説明)</p>

飯田 委員長	次の委員会までに意見等があれば、事務局に連絡する形で良いか。
板坂 室長	後日、事務局の方から、意見用紙を委員の皆様にお送りするので、それに書いていただき、事務局まで提出をお願いしたい。
飯田 委員長	他に質問がないようなので、本日の会議はこれにて終了とする。会議の進行にご協力いただき感謝する。
	3. 閉会
	—終了—